

授業概要

算数科の授業についての基礎的知識と指導法にいて知り、児童の学びを保証できる実践力を備えた教師となることが求められる。まず、「教材研究（教科書分析）」→「学習指導案作成（授業構成）」→「模擬授業（実践）」→「検討会（次の授業へ生かす）」という、PDCA サイクルに載せた流れと、それぞれの位置づけについて解説をし、続いて体験的に指導する。特に、模擬授業は、グループ毎に決められた単元の授業について、一連の流れで準備と練習を行い、発表をする。授業者以外全員が児童役を演じ、直後に意見を交わす授業検討会で、授業を観る力を養うとともに、よりよい授業をするための指導を行う。また ICT を活用した授業の指導を行う。

授業計画

| | | |
|------|--|--------------------------|
| 第1回 | オリエンテーション、『学習指導要領算数編第4章』指導計画の作成，教材と児童と教師 | |
| 第2回 | 授業での情報の流れ，教材研究と学習指導案作成と模擬授業の位置づけ | |
| 第3回 | 教科書分析の仕方，「わり算」単元の内容，単元導入部分の分析（等分除の場面の理解） | |
| 第4回 | 「わり算」単元，教具の使用・式の指導・計算のしかた部分の教科書分析演習 | |
| 第5回 | 学習指導案の形式の理解と具体的な事項の書き方 | |
| 第6回 | 第3学年「わり算」学習指導案の作成演習 | |
| 第7回 | 実際の模擬授業とその進め方 | |
| 第8回 | 第1学年「たしざん」・ | 第1学年「ひきざん」の模擬授業とその検討会 |
| 第9回 | 第2学年「長さ」・ | 第2学年「かさ」の模擬授業とその検討会 |
| 第10回 | 第3学年「三角形」・ | 第3学年「かけ算の筆算」の模擬授業とその検討会 |
| 第11回 | 第4学年「わり算の筆算」・ | 第4学年「面積」の模擬授業とその検討会 |
| 第12回 | 第5学年「小数のかけ算」・ | 第5学年「平行四辺形面積」の模擬授業とその検討会 |
| 第13回 | 第6学年「分数÷分数」・ | 第6学年「比例」の模擬授業とその検討会 |
| 第14回 | 現職教員による第1学年「いくつといくつ」から学ぶ，指導技術についてのまとめ | |
| 第15回 | 担当教員によるプログラミングを活用した第4学年「角の大きさ」から学ぶ | |
| 第16回 | 論述筆記試験 | |

到達目標

教育実習生および新任教員として、算数科の授業を構成し、実践できることを目標とする。

- 算数の教科書について教材分析ができる。
- 授業を構成して、学習指導案として書き上げることができる。
- グループ模擬授業を通して、基礎的な指導技術を身に付ける。
- 模擬授業への児童役としての参加と授業検討会を通して、授業を観る視点を得るとともに批判的に意見を述べるができる。

履修上の注意

本授業を履修する場合には、「算数」を履修していることが望ましい（特に、小学校教員を第1志望としている場合）。グループでの模擬授業を通して、教材や授業に関して協働する力は教員としての大事な資質であるので、積極的に取り組むこと。

予習・復習

教科書分析および学習指導案作成演習で、授業内で出来なかった部分については宿題とする。グループで、指定された単元について、教科書分析と学習指導案作成および準備物作成・模擬授業練習を、授業外で集まって学参すること。教員の事前指導を受ける。終了後は反省レポートを作成して提出すること。

評価方法

個人演習（学習指導案作成）20%、グループ模擬授業40%、論述筆記試験30%、授業への意欲10%

テキスト

- 教科書名：学習指導要領 算数編
- 出版社名：日本文教出版

『算数の教科書』各学年（こちらで資料として配布）